

パネルディスカッション7

「消化管疾患とマイクロバイオームの関連」

司会 金井 隆典（慶應義塾大学医学部内科学（消化器））

石川 大（順天堂大学消化器内科）

腸内細菌叢の乱れ（dysbiosis）が炎症性腸疾患、過敏性腸症候群、大腸がんといった消化管疾患に関与していることが明らかになってきている。また、dysbiosis の改善を目的とした腸内細菌療法にも注目が集まっており、近年急増する潰瘍性大腸炎患者への新しい治療選択肢として期待が高まっている状況である。そこで、このセッションでは、消化管疾患と dysbiosis との関連や、腸内細菌サイエンスを利用した BIO マーカー、プロバイオティクス、新規治療についてなど、多角的に議論を深めたい。